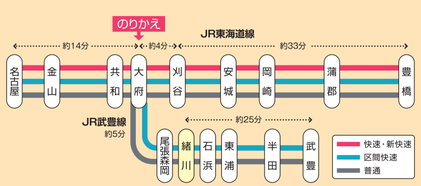
東浦町

徳川家康の母
於大を生んだ歴史と自然のまち

面積：31.14平方キロメートル
人口：50,315人（平成28年8月末日現在）

# INFORMATION




■電車のアクセス

**名古屋・金山方面から**

- JR武豊線直通・区間快速武豊行きで「緒川駅」下車
- JR東海道線「大府駅」にてJR武豊線のりかえ2駅目「緒川駅」下車

※大府駅には特別快速は停車しません

**刈谷・安城方面から**

- JR東海道線「大府駅」にてJR武豊線のりかえ2駅目「緒川駅」下車

※大府駅には特別快速は停車しません

**半田・武豊方面から**

- JR武豊線「緒川駅」下車

■車のアクセス

- 国道366号線バイパス沿い【刈谷・安城・知立方面より、平成大橋を渡りすぐそこ】
- 東浦知多ICから車で約10分【ICを下りて左折、東浦町役場方面へ】
- 衣浦大橋より車で約15分【高浜・碧南・西尾方面より】

## 東浦町観光協会

〒470-2103 愛知県知多郡東浦町大字石浜字岐路28番地の2
（東浦町勤労福祉会館商工振興課内）
TEL0562-83-6118　FAX0562-83-6117
［ホームページ］ http://higashiura.or.jp/kanko/

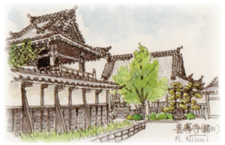
**1 村木砦跡**（むらきとりであと）
天下統一を志していた今川義元は尾張に勢力を伸ばし、知多半島北東部の村木（現東浦町森岡）に砦を築きました。危機に直面した緒川城主水野信元は、天文23年（1554年）、織田信長の援軍を得て村木砦の今川軍を打破りました。

**2 八剣神社**（やつるぎじんじゃ）
村木砦の戦い（天文23年（1554年））の17年後に、水野信元の家来清水八右衛門と清水權之助により、両軍の戦死者を弔うために建立されました。

**3 村木神社**（むらきじんじゃ）
村木とは、明治8年（1876年）までの村の名前です。大正2年（1913年）に現在地にあった津島社と、周辺にあった八幡社を合祀し、村木神社としました。村木砦の戦いのときには、織田信長の本陣が置かれました。

**4 入海貝塚**（いりみかいづか）
入海神社境内の拝殿・本殿東の段丘崖に沿って貝層が分布しています。縄文時代早期末（約7000年前）の貝塚で、貝殻からは縄文土器を中心に、石器・骨角器などが出土しました。縄文土器は口縁下に数条のヘラなどで刻みの入った突帯が特徴で、「入海武士器」と呼ばれ、東海地方の縄文時代早期末の基準土器となっています。

**5 キリシタン灯篭**（キリシタンとうろう）
緒川城家老の竹内文左衛門家の菩提寺、越境寺に「キリシタン灯篭」があります。上等の天井石で作られており、よほど財力のある人物だと考えられます。現在は町の指定文化財となっています。



**6 善導寺**（ぜんどうじ）
1443年創建といわれている浄土宗の寺で、慶長10年（1605年）水野分長が海辺から現在地に移転しました。於大は、嫁いだ松平が浄土宗であったため、この善導寺を自らの菩提寺と決めました。それゆえ、於大の200回忌・250回忌の法要が行われました。

**7 地蔵院**（じぞういん）
本尊は海岸に流れ着いた木造地蔵菩薩に、力千殺が付着していたので「力千殺地蔵」と呼ばれています。境内にあるオモダカの井戸で、三代目緒川城主水野清忠の妻が、子宝に恵まれるように祈願し、満願の日に水を汲もうとしたら、オモダカの葉と水来鼓が浮びました。その後、子宝に恵まれたことからオモダカと水来鼓を家紋としました。

**8 緒川城址**（おがわじょうし）
緒川城は水野貞守が文明年間（1469年～1486年）に築城したと伝えられ、忠政や信元ら水野氏の居城になりました。緒川の北側8メートルの台地に築かれ、絵図によれば主郭は東西83メートル、南北95メートルの平城でした。忠政の娘で、徳川家康の母於大の方が生まれた場所でもあります。

**9 水野家四代の墓所**
（みずのけよんだいのぼしょ）
水野家の菩提寺である乾坤院の境内の北側に建っています。水野家中興の祖である忠政の墓の隣の一段下に忠守（忠政の子）、忠元（忠守の子）、忠善（忠元の子）の五輪塔が並んでいます。

**10 乾坤院**（けんこんいん）
文明7年（1475年）、水野貞守により一族の菩提寺として創建され、境内には水野家四代の墓所、総門、山門など貴重な史跡・建造物があります。（平成28年3月4日に発生した火災により本堂、座禅堂、水野氏歴代の位牌を祀った堅雄堂が焼失しています。）

**11 明徳寺川沿い「於大のみち」**（みょうとくじがわぞい「おだいのみち」）
平成2年のふるさと創生資金で、明徳寺川の堤に八重桜を植えました。今では明徳寺川両岸の2kmにわたり約600本の八重桜が咲き誇ります。平成6年から於大姫行列を中心に「於大まつり」が八重桜の咲く4月第3土曜日に開催されます。

## 歩いてみよう「歴史の町」東浦

### ボランティアガイドがご案内します

**1 織田信長ゆかりの地散策コース**：森岡（約2時間）
信長・水野信元の連合軍と今川軍が村木砦をめぐって激しく戦いました。この戦いで、信長は初めて鉄砲を使ったといわれています。森岡地区に残されている信長ゆかりの地を散策します。

**2 於大の方ゆかりの地散策コース**：緒川（約2時間）
緒川城主水野忠政の娘於大は、1541年に岡崎城主の松平広忠に嫁ぎ、二人の間に生まれたのが竹千代（後の徳川家康）です。緒川地区に残されている於大ゆかりの地を散策します。

**3 緒川藩城下町コース**：緒川（約2時間）
1601年緒川城主水野分長率いる一万石緒川藩が成立しました。しかし、分長が1606年に新城に移封となり、緒川城は尾張藩直轄となり廃城という運命をたどりました。そんな歴史を偲びゆかりの地を散策します。

お問合せ
**東浦ふるさとガイド協会**
（東浦町郷土資料館内）
〒470-2103　愛知県知多郡東浦町大字石浜字桜見台18-4
TEL0562-82-1188（月曜日休館）
ホームページ：http://higashiura-guide.jimdo.com/
※必ず2名以上のグループで、ガイド希望日の3日前までの申込が必要です。

ガイドは無料です

# 東浦町めぐり 旅MAP

歴史と自然がいっぱいの東浦町を
のんびりお散歩しませんか？

**12 帝塚**（みかどづか）
下廻申沼（石浜）の高台の中腹に石垣と小さな祠があり、南朝方に縁のある親王の墓であろうと伝えられています。その昔、この下あたりは海であり、行き交う舟はこの前に来ると帆を下ろして心から敬意を表したといわれています。



**13 生路井**（いくじい）
昔、日本武尊が発見したと伝えられる名井です。その後、村人は共同井戸として大切に使用してきたが、心無い者が水を汲むたちまち濁ったと言われています。



**14 衣ケ浦藤江越し跡**
（ころもがうらふじえこしあと）
護岸堤防にはさまれた入江は、昔の藤江～吉浜間の渡船場の跡で、藤江越しと呼ばれ、昭和31年衣浦大橋が開通するまで、知多と三河を結ぶ重要な交通路のひとつでした。